

# モチベーションどう高める



飯田 安部記者

新型コロナウイルスの感染拡大で、3密（密閉・密集・密接）回避や越県移動自粛により、歓送迎会や新年会などの飲食を伴う対面イベント開催が難しくなり、従業員のモチベーションを高めづらい。その中でも有名キャラクターによる表彰や健康対策で、従業員のモチベーション向上を目指す会社も。新型コロナ終息が見えない中、各社の工夫が求められそうだ。

我慢を求められる日々

新型コロナの威威が止まらない。12日から東京は4度目の緊急事態宣言に突入。沖縄の宣言延長に加え、埼玉、千葉、神奈川、大阪もまん延防

止等重点措置」が継続となり、3密回避や越県移動自粛といった我慢を求められる日々が続く。

集団研修に加え、新人社員の歓迎会、定年社員

の慰労会、忘年会、新年会など多くの従業員が集まり飲食しながら歓談する、対面イベントの中止にもつながら、従業員

のモチベーションを高めることに苦労した物流企業も見られた。

例えば、関東のある食品物流企業の人事担当者は「以前は、新人や女性ドライバーの集団研修後、社長が参加者との飲み会を開いていたが、いまはオンライン研修のため、開催が難しくなった。外出自粛により、運動部への補助金の支援を求める声もなくなっている」と話す。

別の関東の物流企業は飲み会のような従業員

の取り組みだけでは、急激な環境の変化に不利厚生が対応できず、従業員のモチベーションを高められないとする。

コロナ生かし  
た取り組みも

西濃運輸は従業員のモチベーションアップの一環で、優秀な従業員

のモチベーションを高めることに苦労した物流企業も見られた。

例えば、関東のある食品物流企業の人事担当者は「以前は、新人や女性ドライバーの集団研修後、社長が参加者との飲み会を開いていたが、いまはオンライン研修のため、開催が難しくなった。外出自粛により、運動部への補助金の支援を求める声もなくなっている」と話す。

別の関東の物流企業は飲み会のような従業員

## 感染症流行で 飲み会難しく

防れ、優秀ドライバーを表彰した。

さらに、この日は視覚していた従業員がプライベート用に写真を撮影する許可も出た。女性従業員を中心に、普段見られないSDGsハローキティなどの撮影に「めったにない機会に楽しめた」と盛りの上がり、つかの間の癒やしや従業員同士のコミュニケーションの場となった。

従業員の健康対策に注力し、生き生きと働ける環境をつくり、モチベーションアップを目指す会社も。タイワークポレーションは新型コロナウイルス前から、人事部門が中心となり約180人の正社員の面談を行うことで、仕事やキャリア、プライベートの悩みを話せる環境を整えてきた。

6月11日には、共にSDGs（持続的な開発目標）を応援するつながりからコロナ禍しているハローキティが、SDGsの多様な取り組みを象徴するカラフルな衣装で深川支店（東京都江東区）を

訪れ、優秀ドライバーを表彰した。さらに、この日は視覚していた従業員がプライベート用に写真を撮影する許可も出た。女性従業員を中心に、普段見られないSDGsハローキティなどの撮影に「めったにない機会に楽しめた」と

## 取材手帳



健康対策で心  
生き生きと

聞談により、3密回避のため、いままで行っていた飲み会や食事会の開催が難しくなっており、相談事を心ため込んでいる社員が出てくることも多かった。彼・彼女らの話を丁寧に聞くことで、業務面や精神面のケアの手助けをしている。

新型コロナウイルスで懸命に働く従業員に慰労金を支給し、従業員の働く意欲向上に取り組み会社も少なくない。

全ての従業員のモチベーションをアップさせられる取り組みが、見つからないという声もある。一方、対策を講じること

なく、新型コロナをきっかけに従業員が退職してしまっただけ、今後の需要回復局面で新たな業務を獲得することも難しくなる。3密回避などの新しい生活様式にうまくなじめず精神的な不調を来すなど、人と会えないことによる悩みも出てきている。従業員がモチベーションアップへの工夫を引き続き追求する必要がありそうだ。

## 各社の工夫が重要

